

2008.2.25

「経済論壇から」（日本経済新聞 2008 年 2 月 24 日）で、私の「経済教室」の議論が引用されました。

松井彰彦、「経済論壇」（日本経済新聞 2008 年 2 月 24 日）、「政府系ファンドを考える」として、政府系ファンドによる投資のあり方（投資をする側の投資スタンス、投資を受け入れる国のスタンス）について論評しています。そのなかで、つぎのように私の「経済教室」に言及しています。

東京大学教授の伊藤隆敏氏（本紙「経済教室」2 月 18 日付）は政府系ファンドによる買収を心配する声に一定の理解を示しながらも、たとえば空港のような公益性の高い場合でも、外資規制のような内外を差別化するような政策を採るべきではないと強く主張している。今後は外資を一律に規制するのではなく、必要に応じ大口規制（一社で保有できる株の上限の規制）をかけるといったように、必要な規制と必要でない規制をみきわめていく、そうした対応がますます求められていくことになるだろう。